

授業概要

発展途上国の主要な課題は、貧困や経済格差（不平等）の問題をいかにして解決（是正）していくかにあると考えられる。この授業は、“途上国”という言葉で一括りにできない多様な要素を持つ発展途上国の開発や貧困を、経済・社会・政治・法といった多面的な次元から認識する経済開発論が中心である。

授業では、途上国に対する受講生の関心に応えつつ、ある途上国をモデルとして、考える力を引き出す開発経済学の理論を講義する。

授業計画

第 1 回	イントロダクション・全体の概要と目的を述べるとともに、授業内容について解説する。
第 2 回	途上国の農業について講義する。
第 3 回	農村信用市場・多様化する農村経済とマイクロファイナンスについて講義する。
第 4 回	途上国の人づくり・教育と健康について講義する。
第 5 回	途上国の労働移動について講義する。
第 6 回	途上国の経済成長と工業化・グローバル化について講義する。
第 7 回	途上国の技術移転について講義する。
第 8 回	途上国の経済開発と貿易について講義する。
第 9 回	途上国の開発金融とグローバル金融システムとの繋がりについて講義する。
第 10 回	日本の開発援助について講義する。
第 11 回	途上国の持続可能な開発と環境について講義する。
第 12 回	途上国の環境と貿易について講義する。
第 13 回	途上国の産業開発と法制度整備について講義する。
第 14 回	途上国の貧困とフィールド調査の実際について講義する。
第 15 回	途上国の障害と開発について講義する。
第 16 回	筆記試験

到達目標

発展途上国における開発問題や、発展途上国と日本の関係等を学ぶことによって、過去および現在の世界経済に関する知見を深めることが到達目標である。

経済学はおもしろく、役に立つ学問であるが、その役に立つ経路が特にはっきりしているのが、途上国を対象とする開発経済学であろう。受講生は、途上国の問題に関心を持ってもらい、その関心が学問としての開発経済学への興味に繋がってほしい。

履修上の注意

1. 講義内容の変更等授業の重要事項が第 1 回目に説明される。単位認定にかかわるので必ず第 1 回目の授業に出席すること。
2. やむを得ない欠席は「履修のてびき」に記載の手続きをすること。

予習・復習

予習：授業のレジュメを把握し、教科書の該当箇所と新聞・WEB サイトのアジア諸国に関する記事をよく読むこと。

復習：配布した参考資料を読み、授業時に示す課題について回答レポートを作成すること。

評価方法

期末レポート提出で 80%、受講態度 20%。

テキスト

- ・教科書名：『ストーリーで学ぶ開発経済学』一途上国の暮らしを考える
- ・著者名：黒崎卓/栗田匡相
- ・出版社名：有斐閣ストゥディア
- ・出版年（ISBN）：2016 年（978-4641150348）